北海道看護協会十勝支部ニュース

Nursing あい

発行者　(社)北海道看護協会十勝支部
編集責任者　鈴木　智子

No.112

2025年 2 月発行

北海道看護協会　シンボルマーク

おびひろ健康まつり

と　き：令和６年９月１日（日）
ところ：帯広市保健福祉センター

おびひろ健康まつりに参加して

公益社団法人地域医療復興協会
十勝いけだ医療センター
松田麻奈美

2024年9月1日、帯広保健福祉センターで帯広健康祭りが開催されました。初めて健康祭りの担当をすることとなり不安はありましたが、前年度担当のスタッフや一緒に行うスタッフと確認しながら当日を迎えました。

十勝支部の企画内容は、帯広消防と共同でのAED体験、アルコールパッチテスト、簡易血糖測定、乳がん検診、身体測定、血圧測定、子供白衣体験でした。当日は天候にも恵まれ約300人を超える来場者がいました。

私が担当していたアルコールパッチテストのブースには100名以上の来場者がいました。

私が印象に残っている企画はAED体験で、小さなお子様からご高齢の方まで真剣に行っていたことです。参加人数も多く人気のある企画でした。

また簡易血糖測定の企画にも多数の方が来られ、こちらも人気があるようでした。

来場された皆様は様々な企画を記載している用紙を手に持ちながら様々な企画に立ち寄っており、健康意識の高さに驚かされました。

今後も看護師として、皆様の健康維持、増進のための助けになる活動をおこなっていきたいと思います。

支部担当研修会

と　き：令和６年10月12日（土）
ところ：帯広協会病院

テーマ
「帯広・十勝の在宅医療の現状と課題」
講師／医療法人社団ふくろうの森さかい総合内科クリニック
酒井　　俊 先生

テーマ
「患者・家族の思いをつなぐ 在宅療養支援の連携」
講師／北海道帯広保健所企画総務課保健推進係
保健師　星　　瑠美 先生

十勝リハビリテーションセンター
看護師　郡司　隆行

昨年10月12日、北海道看護協会十勝支部教育委員主催の支部研修が開催されました。今年のテーマは「在宅療養を支える看護」。研修会では、医療法人社団ふくろうの森さかい総合内科クリニック酒井俊先生から、「帯広・十勝の在宅医療の現状と課題」を。また、北海道帯広保健所企画総務課保健推進係星瑠美保健師より、「患者・家族の思いをつなぐ　在宅療養支援の連携」についてご講演をいただきました。

講演を拝聴し、特に印象に残ったのは、北海道の地方都市では在宅療養支援診療所が他の地域と比較して少ないという帯広市の現状を知ることができました。そして入院生活からスムーズに在宅療養へつなげるために、退院後の在宅での生活を支える多職種との退院前カンファレンスの開催がとても重要であることを学びました。診療情報提供書や、看護サマリーだけではわからないことを多く、退院後に協働する予定の職種の顔合わせができ、可能な限り開催することが望ましいことを実感しました。

管理者懇談会

と　き：令和６年９月28日（土）
ところ：帯広第一病院

テーマ
「看護の動向」
講師／北海道看護協会　　会長　髙橋久美子 先生

テーマ
「新入職員の人材育成」
講師／北斗病院　臨床心理科　　主任　大倉　雄一 先生

管理者懇談会に参加して

社会医療法人　北斗病院
看護師　**深谷奈那子**

今年度より主任となり、初めて参加させて頂きました。高橋会長より看護の動向について学びました。日本全体で看護師が増えないことや高齢化に伴い看護師需要率が上がる中、看護師不足によって私たちにのしかかる問題などを知りました。当院での看護師不足は、日本全体の問題に通ずるところがあることを理解しました。これらのことから、看護の動向について他のスタッフにも関心を持ってもらうこと、少ない人員でも回る医療について考えていかなければならないことが私の課題となりました。

臨床心理士の大倉先生より新入職員の心理状態と離職防止に対しての講演をして頂き、SOSサインや認知行動療法について学びました。スタッフはもちろん、自分自身や家族に対しても活用できるものであり、実践したいと思います。最後に、新入職員の人材育成に対する問題や取り組みについてGWを行い、他施設でも類似した問題に直面していることやスタッフに対する今後の関わり方について話し合い、これからの取り組みのヒントとなりました。このような会に参加させて頂きありがとうございました。

三職能合同研修会

と　き：令和６年11月30日（土）
ところ：北斗病院

テーマ
「看護倫理～それは身近な世界！」
講師／帯広大谷短期大学　　石崎　智子 先生

「看護倫理」に参加して

陸別町保健福祉センター　保健指導担当
保健師　**工藤このみ**

今年度の三職能合同研修は、「看護倫理～それは身近な世界！～」をテーマに、帯広大谷短期大学看護学科精神看護学の石崎智子教授にご講演いただきました。

講義の中で、「倫理のイメージは？」「倫理を感じる時って、どのような時？」と問いがあり、倫理と言われても、「難しい」、「堅苦しい」といったイメージしかないなと思っていた私でしたが、講義を受講し、倫理は生活において「良いか・悪いか」「正しいか・間違っているか」「なぜそのように行動するのか・したのか」を検討することであり、それは日々の生活、業務の中でも、例えば「患者さんと接する中で、なぜそのような行動をしたのか」「住民の健康を守るための働きかけとしてこれは間違っている？」など考えながら仕事をしている私たち看護職にとって、とても身近なものであることがわかりました。また、グループワークでは、倫理的問題を考える事例をとおして、倫理的なあり方、考え方とは多様であり、それぞれに価値があること、だからこそ人と人とが話し合うことの大切さについて考える機会となりました。貴重な講演をありがとうございました。

医療安全ネットワーク研修会

と　き：令和６年12月７日（土）
ところ：北斗病院

テーマ
「心理的安全性について」
講師／北斗病院　医療安全対策科専従医療安全管理者　長屋　洋平 先生

広尾町国民健康保険病院　２階病棟
看護師　**斉藤　淳子**

　看護協会十勝支部主催の研修会に参加させていただきました。テーマは「心理的安全性について」ですが、別の研修会でもこのテーマで勉強する機会がありました。今、医療の現場で求められているのは心理的な安全なのかと改めて考えさせられる場でもありました。言葉を聞いて何となく理解できますが、具体的な内容は？と聞かれると安心できる言葉掛けなのかと思いましたが、それだけではなく仕事の効率を上げるための全員で関わる一つの取り組みであると理解できました。まずは、自由に発言を出来る場、否定しない、怒らない、無視しないことで様々な提案が出され結果として安全で質の高い医療の提供に繋がると思います。心理的安全では仕事中の私語にも意味があり、体調が悪いのかプライベートで何かあったのか話しを聞く事で安心感が得られ、結果として仕事の効率が上がるとお話しがあり驚きました。心理的安全について当院でも勉強する機会を設けて心理的安全性を高められる職場にしたいと思います。

キッズタウン2024

と　き：令和６年11月16日（土）
ところ：とかちプラザ

医療法人社団博仁会　大江病院　看護師　坂井希晶

　11月16日に十勝プラザで開催された「おびひろキッズタウン2024」に今年も出展しました。問診やバイタルサイン測定・聴診などを体験してもらいました。また、その他にも傷の消毒や包帯固定なども実施。スクラブや白衣を身にまとった小学生が看護師になりきって、ニコニコで体験される様子が印象的でした。
　中には「将来看護師になりたい」と話す小学生もいて、少しですが夢の後押しができたのかなと嬉しく思います。
　また、高校生3名の協力をいただき、ブースの受付・着替え対応・患者役と協力を頂き、受付終了後も子どもたちから声がかかるなど、前年よりも更に大盛況となりました。
　これからも看護師になりたいという子どもたちが増えるように、このような活動のお手伝いができればと思います。また、初心を大切に患者様やご家族と向き合っていきたいと思います。

北海道看護協会十勝支部会員数

（2024年８月25日現在）

保健師	看護師	助産師	准看護師	会員総数
78名	1692名	86名	158名	1991名

編集後記

　早いもので広報委員の大役を引き受けてからあっという間の一年間でした。対面での研修が再開され、取材のなかでも講師の方々や参加される方の熱気が肌で感じられるものでした。またこの様な機会を通して、様々な病院・施設の方と関わることができたことは貴重な体験となりました。
　各施設の方々多忙のなか原稿依頼を快諾して頂きありがとうございました。今後もこれで最後ではなく、様々な形で支部活動の力になれたらと考えております。
（広報委員／瀬戸・坂井・山内・松田）